



【レベル別研修の受け方】※作成中

## 2) 研修参加実績

### (1) 介護クリニカルラダーレベル申請あり

介護看護部教育委員会に準ずる部門は介護クリニカルラダーレベル別研修参加実績シート（様式4介護-①～⑤）後に合格印を押印する。レベル別研修以外に受講した研修についても記載をして履歴を残し、上職位者の確認印を押印する。

### (2) 介護クリニカルラダーレベル申請なし

介護クリニカルラダーレベル別研修参加実績シート（様式4介護-⑤）に、年度内に受講した全ての研修名を記載し履歴を残し、上職位者の確認印を押印する。

## 3) 研修計画及び実践の連携

①各レベルの研修計画は施設毎に企画することとなるが、AMG グループにおいて以下の介護教育ネットワークを活用し共同企画及び運営も考慮する。

## VI. 介護クリニカルラダーレベル別研修一覧

## 1. 研修計画

介護クリニカルラダーのレベル別研修は管理実践項目から重要なものを抽出し必修研修と位置づける。マネジメントを実践するうえで自己研鑽・自己管理を強く求められるため施設内研修講師や施設外研修へ経過的に参加し能力向上を期待する。また、研修参加実績については各シートへ記載し曆を残す。

## 1. レベル I 研修

研修名	ねらい	内容
コミュニケーション I	1. 介護現場でのコミュニケーションの大切さを理解することができる	1. 利用者とのコミュニケーション 2. 職員同士のコミュニケーション
感染管理 I	1. 感染管理の基礎を理解する	1. 標準予防策 (スタンダード・プリコーション) 2. 感染経路別予防策
安全管理 I	1. 施設内の安全対策の体制を理解する	1. 施設の安全対策について 2.
終末期ケア I	1. 施設で看とるということの意義を理解する	1. 終末期とは 2. 施設における終末期ケア
認知症ケア I	1. お世話と介護の違いがわかり、認知症の人の行動を驚かずに観察できる	1. 認知症介護の特徴と障害の本質 認知症とコミュニケーション 実施してよいこと、してはいけないこと
リーダーシップ I	1. リーダーシップ、フォローシップについて理解できる	1. リーダーシップとフォローシップ ①リーダーシップ論 ②チームケアとリーダーシップ ③フォローシップとは ④フォロワーとしての役割の重要性
倫理 I	1. 倫理とは何かを理解できる	1. 倫理と道徳 ①倫理と道徳の違い ②臨床現場で問題となる倫理事例の理解 ③個人情報保護法及び守秘義務について 2. 介護職の倫理綱領の理解
メンタルヘルス I	1. ストレスマネジメントの方法を知り、自己管理ができる	1. ストレスマネジメントについて 2. セルフケアについて
目標管理 I	1. 組織の一員として、目標管理の手法を用いて個人目標を設定することができる	1. 目標管理とは… 2. 組織目標と個人目標との関連

介護マネジメントラダー運用手引き	V3.0	AMG 看護本部
------------------	------	----------

		3. 個人目標の設定の仕方
--	--	---------------

## 2. レベルⅡ研修

研修名	ねらい	内容
コミュニケーションⅡ	1 相互尊重に裏付けられた自己表現と コミュニケーションスキルが理解できる	1 アサーティブなコミュニケーション 2. 自己のコミュニケーションパターンの傾向
安全管理Ⅱ	1 潜在的な問題を抽出することができ、 対応策を考えることができる	1 ヒヤリ・ハット報告書の傾向対策の理解 2. 危険予知訓練
終末期ケアⅡ	1 施設で看取る利用者に対して介護職が できることを理解できる	1 終末期の利用者・家族の変化 2. 介護職としての役割
認知症ケアⅡ	1 認知症の方のその場の対処方法を学びながら 病気や障害の理解を深めていく	1 認知症という病気の理解 認知症の中核症状 BPSD 発生のメカニズム
リーダーシップⅡ	1 職場でのリーダーシップについて理解 できる	1 リーダーとリーダーシップ 1 職場におけるリーダーの役割 ②マネジメントとリーダーシップの違い ③明日から自分にできること
倫理Ⅱ	1 倫理問題の所在に気づくとともに、 どうすべきかを考えることができる	1 倫理原則の理解 2. 事例を通して倫理原則の考え方を学ぶ 3. 倫理的な問題に直面した時に自分なら どうするかを考えられる
目標管理Ⅱ	1 SWOT 分析の手法を用いて、自己の分析を 行うことができる 2. 自己分析の結果をもとに、個人目標を設定 することができる 3. 個人目標に沿って、取り組むことができる	1 現状分析の手法 1 SWOT 分析 1) SWOT 分析とは… 2) SWOT 分析の構造 3) 基本フレームワーク

<b>介護マネジメントラダー運用手続き</b>	<b>V3.0</b>	AMG 看護本部
-------------------------	-------------	----------

	<p>することができる</p>	<p>2. 演習：SWOT 分析の手法を用いて自己分析  (内部環境分析・外部環境分析)を行う</p>
--	-----------------	---

### 3. レベルⅢ研修

研修名	ねらい	内容
コミュニケーションⅢ	<p>1. 後輩や利用者・利用者家族との面接をする  ためのスキルについて理解できる</p>	<p>1. 自己理解と他者理解  2. 面接（カウンセリング）技法</p>
安全管理Ⅲ	<p>1. 分析手法を用いて原因、解決策がわかる</p>	<p>1. 代表的な分析方法の概要と具体的な方法</p>
終末期ケアⅢ	<p>1. 介護が行う看取りについて事例を通して  考えることができる</p>	<p>1. 施設での事例をもとに、グループワーク  2. 各自の学びを共有</p>
認知症Ⅲ	<p>1. ハウツー対応を卒業し、相手の気持ちに寄り  添うケアができる</p>	<p>1. BPSD 発生の悪循環と好循環の理解  さまざまな BPSD の理解  個別に違う家族や社会との関係をケアに生かす</p>
リーダーシップⅢ	<p>1. 議論に対し中立的な立場で話し合いに介入  し、議論をスムーズに調整する  2. 役割について理解できる</p>	<p>1. ファシリテーション概論  ①ファシリテーションとは  2 ファシリテーションの効用  2. ファシリテーターの役割  ①場をデザインする  ～場をつくり、つなげる～  2 対人関係の調整～受け止め、引き出す～  ③構造化～かみ合わせ、整理する～  ④合意形成～まとめて、分かち合う～</p>
メンタルヘルスⅢ	<p>1. メンタルヘルスケアの効果について理解  できる</p>	<p>1. ラインケアの理解  ①職場環境等の把握と改善  2 メンタル不全者の発見  ③休職スタッフへの対応</p>

<b>介護マネジメントラダー運用手引き</b>	<b>V3.0</b>	AMG 看護本部
-------------------------	-------------	----------

		④労働者からの相談対応 ⑤労働者からの相談対応職場復帰における ⑤支援
目標管理Ⅲ	1. 自己分析した結果をもとに、介護看護部 目標・部署目標を踏まえた個人目標の設定 を行うことができる	1. キャリア開発と目標設定 2. 演習 ※次年度の目標設定

#### 4. レベルⅣ研修

研修名	ねらい	内容
コミュニケーションⅣ	1. 部署スタッフ及び利用者・家族と信頼関係を築くための支援ができる	1. コーチング 2. スタッフ育成のプロセス
安全管理Ⅳ	1. 自部署における事故に対応できる能力を養う	1. 緊急時の対応 2. 安全対策委員との連携
認知症Ⅳ	1. 非言語コミュニケーションを駆使し、表情で相手に思いを伝えられる	1. 非言語コミュニケーションの理解 認知症ケアの質評価 本人視点のプランの作成方法
リーダーシップⅣ	1. 合意形成や相互理解に向けて深い議論ができる調整役を理解することができる	1. 議論のプロセス 2. 議論をすすめる上で準備すること
目標管理Ⅳ	1. SWOT分析の手法を用いて、自部署の現状を、部署の看護管理者と共に分析することができる 2. 自部署の現状分析の結果をもとに、課題を明確にすることができる 3. 課題に対する自部署の目標を、部署の	1. 現状分析の手法 [復習] ①SWOT分析 1) SWOT分析とは… 2) SWOT分析の構造 3) 基本フレームワーク 2. 自部署の運営に必要な経営管理指標

<b>介護マネジメントラダー運用手続き</b>	<b>V3.0</b>	AMG 看護本部
-------------------------	-------------	----------

	<p>看護管理者と共に設定することができる</p> <p>4. 設定した自部署の目標に沿って、看護管理者の助言を受けながら、自ら主体的に取り組むことができる</p> <p>5. 自部署の運営に必要な経営管理指標について理解することができる</p> <p>※次年度の目標設定</p>	<p>3. 演習</p> <p>①SWOT分析の手法を用いて、自部署の現状を部署の介護管理者と共に分析する</p> <p>②自部署の現状分析の結果をもとに、課題を明確にする</p> <p>③課題に対する自部署の目標を、部署の介護管理者と共に設定することができる</p>
--	--	--

#### 5. レベルⅣ研修

研修名	内容
キャリアラダーⅤ研修	自己の課題に基づき、自己研鑽とする。

# 介護クリニカルラダーレベル別到達目標一覧

## (高齢者介護施設)

	I	II	III	IV	V
	<b>指導を受けながら介護実践ができる</b>	<b>部分的な指導のもとある程度の介護実践ができる</b>	<b>指導がなくても一定の介護実践ができる</b>	<b>チーム内においてリーダーシップをとることができ、基本的な介護を後輩や学生に指導・教育することができる</b>	<b>自部署の業務が円滑に遂行されるように、スタッフに対する指示・指導を状況に合わせて行うことができる</b>
到達目標	1. 指導を受けながら利用者とのコミュニケーションの重要性を理解することができる	1. 部分的な指示のもと利用者の個性をふまえたコミュニケーションが図ることができる	1. 利用者の個性をふまえたコミュニケーションが取り、ニーズを捉えることができる	1. 利用者の個性をふまえたコミュニケーションが取り、ニーズを捉えられるよう指導ができる	1. 利用者の個性をふまえたコミュニケーションが取り、ニーズを捉えられているか評価できる
	2. 介護過程についての基本的知識と必要性について理解ができる	2. 担当する利用者の介護過程の展開を部分的な指導を受けながら実践できる	2. 介護過程の展開について理解し実践できる	2. 介護過程の展開についての指導ができる	2. 介護過程の展開に対する評価ができる
	3. フォロワーシップの重要性を理解し、指導を受けながら実践できる	3. フォロワーシップの重要性を理解し、部分的な指導を受けながら実践できる	3. フォロワーシップの重要性を理解し、実践できる	3. 介護実践の指導者として、地域や多職種と連携を図りながら介護実践をすることができる	3. 介護実践の評価者として、地域や多職種と連携を図りながら介護実践をすることができる
	4. 指導を受けながら利用者や周囲の人々の思いや考えを知ることができる	4. 利用者や周囲の人々の思いや考えを、指導を受けながら介護実践に活かすことができる	4. 利用者や周囲の人々の思いや考えを確認し、介護実践に活かすことができる	4. 利用者や周囲の人々の意思決定プロセスに介護職の立場で参加し、適切な介護を実践できる	4. 適切な資源を積極的に活用し、利用者や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる
組織役割遂行	1. 組織の役割を知り、指導を受けながら責任の最も軽い、難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす	1. 組織の一員としての役割が理解でき、指導を受けながら基準や手順を遵守した行動がとれる	1. 所属する現場で、組織的役割が遂行できる。指導を受けなくても基準や手順を遵守した行動がとれる	1. 所属する現場で、日々の業務においてリーダーシップを図ることができる	1. 介護看護部や施設から求められる役割を遂行できる
		2. 介護チームでは簡単なルーチンの係の役割を遂行できる	2. 介護チームではルーチンの係の役割を遂行できる	2. 特殊なまたは、専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割を所属長の指導を受けながら遂行できる	2. 所属部署の課題に対して具体的解決を図る
教育・研究	1. 指導を受けながら自己の課題を発見し、学習に取り組むことができる	1. 自己の課題を発見し、指導を受けながら学習に取り組むことができる	1. 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習を主体的に取り組むことができる	1. 自己の学習活動に主体的に取り組むとともに、新人や学生に対する指導的な役割を果たすことができる	1. 自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に学習や研究に取り組み、教育的役割がとれる
				2. 自己のキャリア開発に関して目指す方向に支援を受けながら学習や研究に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる	

ニーズをとらえる力	指導を受けながら利用者や利用者家族からの相談や苦情を発見することができる	部分的な指導を受けながら利用者や利用者家族からの相談や苦情の対応ができる	利用者や利用者家族からの相談や苦情に対して、利用者や家族へ説明をし、納得してもらうことができる	相談や苦情対応について後輩へ指導ができる	相談・苦情についてチームで適切に実施できているか評価できる
	① 指導を受けながら利用者や利用者家族からの相談・苦情についての基本的知識を知り、発見することができる	① 部分的な指導を受けながら利用者や利用者家族からの相談・苦情を受けることができ、内容について上司に報告し、対応を依頼することができる	① 相談や苦情の要因を特定し、解決策及び再発防止策を考えることができる	① 相談・苦情の内容について上司に報告をするよう指導ができ、要因の特定、解決策および再発防止策の必要性と方法について指導ができる	① 相談、苦情についてのチームの対応について評価ができ、苦情が発生した際にはチームで要因分析と再発防止策が考えられているか評価できる
	② 指導を受けながら相談・苦情の内容及び関連情報を正確に把握、収集することができる	② 部分的な指導を受けながら相談・苦情の内容及び関連情報を正確に把握、収集し、わかりやすく整理することができる	② 相談や苦情に対する解決策について、チームメンバーと共有し、解決策が継続的に実践される働きかけを行うことができる	② 苦情に対する解決策及び再発防止策について、利用者や家族に説明をするときのポイントについて指導ができる	② チーム内で発生した相談・苦情について、他のチームや他部署への報告が適切に行われているかを評価することができる
				③ 相談・苦情に対する解決策についてチームメンバーと共有し、解決策が継続的に実践できるよう指導ができる	③ 一般職や後輩では対応しきれない苦情に対応できる
介護実践における技術的側面	指導を受けながら利用者特性を理解し、適切なコミュニケーションを図ることができる	部分的な指導を受けながら利用者特性に応じたコミュニケーションを図ることができる	利用者特性に応じたコミュニケーションを図ることができる	利用者特性に応じたコミュニケーションについて指導できる	利用者特性に応じたコミュニケーションがおこなえているか評価できる
	① 指導を受けながら利用者が興味関心を持てるような話題を取り上げ、コミュニケーションを図ることができる	① 部分的な指導を受けながら利用者の話に耳を傾け、意思表示を把握し、理解することができる	① 家族に利用者の日頃の様子などの情報を積極的に伝えることができる	① 家族に利用者の日頃の様子などの情報を積極的に伝えることを指導でき、コミュニケーションの重要性を伝えることができる	① 家族へ利用者の日頃の様子などを伝えることができているか把握し、評価できる
	② 指導を受けながら利用者の特性に合わせたあいさつや自己紹介ができる	② 部分的な指導を受けながら認知症の利用者に対し、その特性に応じた声掛けやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができる	② 認知症の利用者に対し、その特性に応じた声掛けやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができる	② 利用者の理解について自身がモデルとなり指導をすることができる	② 利用者やチームスタッフのコミュニケーションが効果的に行われているか評価できる
	③ 指導を受けながら認知症の利用者に対し、その特性に応じた声掛けやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができる	③ 部分的な指導を受けながら視覚障害・聴覚障害の利用者に対し、その特性に応じた声掛けやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができる	③ 視覚障害・聴覚障害の利用者に対し、その特性に応じた声掛けやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができる	③ 認知症の利用者に対し、その特性に応じた対応についてモデルを見せながら指導することができる	③ 認知症、視覚障害、聴覚障害などのある利用者に対して適切なコミュニケーションが取れているか評価できる
④ 指導を受けながら視覚障害・聴覚障害の利用者に対し、その特性に応じた声掛けやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができる			④ 視覚障害・聴覚障害の利用者に対しその特性に応じた対応についてモデルを見せながら指導することができる		
ケアする力	基本介護技術チェックリストの中項目が全て「A」評価になるための努力ができる	基本介護技術チェックリストの中項目が全て「A」評価になることができる	基本介護技術について個別的な視点で利用者に対応することができる	基本介護技術について後輩に指導することができる	基本介護技術が適切に行われているかどうか評価することができる
	① 定期的にチェックリストを用いて指導を受けながら自己評価ができる	① 定期的にチェックリストを用いて部分的な指導を受けながら自己評価ができる	① チェックリストだけでなく、介護計画、部署の介護基準・手順なども参考にしながら個性のあるケアを提供することができる	① チェックリストや介護計画、部署の介護基準・手順をもとに技術の基本を指導することができる	① 指導者が後輩に適切に指導できているかを把握し評価することができる
	② 指導者からの評価を受け止めて、技術向上のために努力をすることができる	② 指導者からの評価を受け止め、自己の課題を知り、技術向上のために努力をすることができる			
	認知症ケアにおける社会背景と認知症ケアの基本姿勢を理解し、実践できる	認知症ケアの特徴と認知症の障害の本質を理解して実践することができる	認知症の中核症状を理解し、BPSD発生メカニズムを理解して実践することができる	BPSD発生時の悪循環とBPSDが出にくい好循環を理解することができる	認知症の利用者の主体的な生活を支援し、認知症ケアの質を評価できる
① 指導を受けながら、超高齢社会と認知症が国の重要課題であることが理解できる	① 部分的な指導を受けながら認知症の定義を理解することができる	① 認知症の中核症状とBPSDについて理解することができる	① BPSDの視点を「特異」「問題」として捉えないことを指導できる	① 認知症ケアのあるべき姿を具体化し、チームに示すことができる	
② 指導を受けながら、認知症に対する偏見をもたずに、利用者に関わることができる	② 部分的な指導を受けながら、認知症ケアにおいて実施してよいこと、してはいけないことを理解して実践することができる	② BPSD発生において、認知症の人が体験している世界を理解して寄り添うケアの実践ができる	② BPSDが現れた利用者へ、心理状態に合わせたケアをモデルとなり指導ができる	② チームの認知症ケアの質を評価することができる	
ケアする力	介護過程についての基本的知識と必要性について理解ができる。	担当する利用者の介護過程の展開を部分的な指導を受けながら実践できる	一連の介護過程の展開について理解し実践できる	介護過程の展開についての指導ができる	介護過程の展開全般に対する評価や監査ができる
	① 指導を受けながら情報収集の方法を理解できる	① 指導を受けながら利用者や家族の意向の把握や利用者の心身状況・身体状況、利用者の「できる行為・活動」と「している行為・活動」、健康状態についてそれぞれ情報収集ができる	① 利用者や家族の意向の把握や利用者の心身状況・身体状況、利用者の「できる行為・活動」と「している行為・活動」、健康状態についてそれぞれ情報収集ができる	① 利用者を取り巻く物的環境、人的環境、利用者の人生や生活の特別な背景、利用している制度についての指導ができる	① 利用者の情報が記録されているか監査することができ、必要な情報が取れていない場合の指導ができる
	② 指導を受けながら個別介護計画書についての必要性の理解、ケアプランとの関係性を理解できる	② 部分的な指導を受けながら情報を統合し、課題を明確にしながら個別介護計画書を作成することができる	② 個別介護計画において、利用者の生活習慣や価値観を尊重する目標、心身の機能を維持・改善するとともに、自立的な生活を支援する目標を設定できる	② 個別介護計画において目標設定と具体的な支援内容について指導ができる	② 介護計画、実施、評価ができているか定期的に監査できる
	③ 指導を受けながらモニタリングの必要性が理解できる	③ 部分的な指導を受けながら、チームにおける介護計画の実施状況を把握することができる	③ それを達成するための具体的な支援内容を設定できる	③ 個別介護計画を利用者や家族に説明するためのポイントを指導できる	
	④ 指導を受けながら個別介護計画の評価の目的と必要性が理解できる	④ 利用者、利用者家族の満足度や意向を把握する必要性が理解できる	④ ケアカンファレンスの場において個別介護計画の目標、支援内容及び関わるスタッフの役割等についてチームメンバーに説明して共有できる	④ ケアカンファレンスの目的や担当者の役割、チームでの介護計画の実施状況を把握、必要に応じて指導ができる	
	⑤ 部分的な指導を受けながら個別介護計画の目標に対する達成度を評価する必要性が理解できる	⑤ プラン内容が継続的に実践される働きかけを行うことができる	⑤ 個別介護計画の評価、利用者や家族の満足度や意向についての指導ができ、見直しが必要な場合には代替案の設定方法についての指導ができる		



# 介護クリニカルラダーレベル別到達目標一覧

## (高齢者介護施設)

	I	II	III	IV	V
			⑥ 個別介護計画の目標に対する達成度を評価することができ、必要に応じて見直しができる		
ケアする力	指導を受けながら事故予防方法、事故発生時の対応について理解ができ実践できる	部分的な指導を受けながら事故予防方法、事故発生時の対応ができる	事故予防方法、事故発生時の対応ができる	事故予防方法、事故発生時の対応について指導ができる	事故予防方法、事故発生時の対応方法について評価や監査ができる
	① 指導を受けながらヒヤリハット報告書の目的が理解でき、ヒヤリハット報告書の記載ができる	① 部分的な指導を受けながら事故発生時の施設内ルールに従い、報告すべき者に対して明確に伝えることができる	① ヒヤリハット報告書の対応策を講じることができ、分析した情報をチームで情報共有を行い、対応策を継続的に実践することができる	① ヒヤリハットの目的と記載方法、対応策と対応策の継続的実践についての指導ができる	① ヒヤリハット報告書の提出状況と内容を把握し対応策が適切か評価を行う。分析された情報を他のチームや部署に報告し共有できる
	② 指導を受けながら事故発生時の施設内ルールに従い、報告すべき者に対して明確に伝えることができる	② 部分的な指導を受けながらヒヤリハットの対応策や事故の再発予防策を立案することができる	② 事故の再発予防策を講じるとともに、家族に連絡し発生原因、再発予防策を利用者・家族が理解できるように説明できる	② 事故発生時の報告ルール、再発防止策が継続的に実践できるよう指導ができる	② 事故発生時の対応が施設ルールに従っているか監査でき、再発防止策が適切で継続性をもって実践されているか評価できる
	③ 指導を受けながら事故の再発防止策を実践することができる	③ 部分的な指導を受けながら再発予防策を継続的に実践することができる	③ 再発予防策を継続的に実践することができる	③ 家族に連絡し、発生原因、再発予防策を利用者・家族が理解できるように説明することをモデルとなり指導ができる	③ 家族への連絡のタイミングや報告の内容、方法について適切かどうか評価できる
			④ 事故報告書に5W1Hを明確にした発生状況とその対応を記載できる	④ 保険者に対する事故報告書について、その定める方法・様式に沿って記載することができる	④ 事故報告書が迅速に作成されているか把握し、必要に応じて指導ができる。保険者に対する報告がタイムリーにおこなえているか評価できる
	指導を受けて感染予防対策、感染発生時の対応ができる	部分的な指導を受けながら感染予防対策、感染発生時の対応ができる	感染予防対策、感染発生時対応ができる	感染症予防対策、感染発生時について指導ができる	部署内での感染予防対策が行えているか、感染発生時には対応が適切であるか評価できる
	① 指導を受けながら利用者の血液、体液、分泌液、排泄物（汗を除く）、障害のある皮膚、粘膜に接触する場合、手袋を着用するとともにケア終了後は、手袋を脱着し手洗いを行うことができる	① 部分的な指導を受けながら利用者の血液、体液、分泌液、排泄物（汗を除く）、障害のある皮膚、粘膜に接触する場合、手袋を着用するとともにケア終了後は、手袋を脱着し手洗いを行うことができる	① 利用者の血液、体液、分泌液、排泄物（汗を除く）、障害のある皮膚、粘膜に接触する場合、手袋を着用するとともにケア終了後は、手袋を脱着し手洗いを行うことができる	① 標準感染予防策について指導でき、オムツやエプロン等感染の媒介となるものの取り扱いについて指導ができる	① 標準感染予防策の周知徹底ができるかどうか評価できる
	② 指導を受けながらオムツ、エプロン等感染の媒介となるものの取り扱いが適切にできる	② 部分的な指導を受けながらオムツ、エプロン等感染の媒介となるものの取り扱いが適切にできる	② オムツ、エプロン等感染の媒介となるものの取り扱いが適切にできる	② 嘔吐物、排泄物、血液等の感染源になるものがある場合の消毒について指導できる	② 必要時指導者が後輩へ適切な指導ができるかを評価できる
	③ 指導を受けながら嘔吐物、排泄物、血液等の感染源になるものがある場合の消毒を確実に行うことができる	③ 部分的な指導を受けながら嘔吐物、排泄物、血液等の感染源になるものがある場合の消毒を確実に行うことができる	③ 嘔吐物、排泄物、血液等の感染源になるものがある場合の消毒を確実に行うことができる	③ 感染症を疑われる利用者や罹患した利用者への対応や消毒等感染拡大防止のための指導ができる	③ 感染発生時には利用者や家族の対応、スタッフ自身の対応が適切か評価できる
	④ 感染症を疑われる利用者や罹患した利用者に対応する場合に、指導を受けながらマスクの着用、ケア前後の手洗い・消毒等感染拡大防止策がとれる	④ 感染症を疑われる利用者や罹患した利用者に対応する場合に、部分的な指導を受けながらマスクの着用、ケア前後の手洗い・消毒等感染拡大防止策がとれる	④ 感染症を疑われる利用者や罹患した利用者に対応する場合に、マスクの着用、ケア前後の手洗い・消毒等感染拡大防止策がとれる	④ 利用者の状態、感染発生状況を記録することを目指す	④ 他のチームや他部署への報告・連絡・相談ができる
⑤ 利用者の状態、感染発生状況を指導を受けながら正確に記録できる	⑤ 利用者の状態、感染発生状況を部分的な指導を受けながら正確に記録できる	⑤ 利用者の状態、感染発生状況を正確に記録できる			
現場でのフォローアップの重要性を理解し、指導を受けながら実践できる	現場でのフォローアップの重要性を理解し、部分的な指導を受けながら実践できる	現場でのフォローアップの重要性を理解し、実践できる	現場でのリーダーシップの重要性を理解し、実践できる	現場リーダーとしての実践と、評価者としての役割を果たすことができる	
① 自分のスキルを評価し、できることとできないことを指導を受けながら明確に表現できる	① 自分のスキルを評価し、できることとできないことを部分的な指導を受けながら明確に表現できる	① 自分のスキルを評価し、できることとできないことを明確に表現できる	① 個々のスキルや仕事に対する取組みの意識を把握し、スタッフのレベルやキャリア・プランに応じて育成計画を立案する必要性が理解できる	① 個々のスキルや仕事に対する取組みの意識を把握しスタッフのレベルやキャリア・プランに応じて育成計画を立案し指導できる	
② 現場で同僚や先輩からの指導・助言を聞くことができる	② 部分的な指導を受けながらチーム内における自身の役割を理解することができる	② チーム内における自身の役割を理解することができる	② スタッフのスキルや利用者とのコミュニケーションの取り方等について具体的な指導・助言を行うことができる	② スタッフのスキルや利用者とのコミュニケーションの取り方、指導の方法について、評価・助言を行うことができる	
③ 指導を受けながらチーム内における自身の役割を理解することができる	③ 指導を受けながらチームのリーダーの考えを理解し、自らの役割に当事者意識を持って参画し、リーダーに対して率直に意見をすることができる	③ チームのリーダーの考えを理解し、自らの役割に当事者意識を持って参画し、リーダーに対して率直に意見をすることができる	③ 自身の役割を明確にし、上司がリーダーシップを発揮できるようにフォローができる	③ 上司がリーダーシップを発揮できるようにフォローができる	
指導を受けながら利用者を介護していくために必要な情報が何か考え、その情報を共有する必要性が理解できる	部分的な指導を受けながら利用者を介護していくために必要な情報が何か考え、その情報を共有することができる	利用者を取り巻く多職種の間での役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる	利用者のおかれている状況を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる	複雑な状況の中で利用者のニーズに適切に対応するために、自主的な判断のもと多職種に積極的に働きかけることができる	
① チームの一員であることを理解し、日々の利用者へのケアを他のスタッフと協働する必要性を理解できる	① 部分的な指導を受けながらチームの一員であることを理解し、日々の利用者へのケアを他のスタッフと協働して行うことができる	① 多職種の役割を理解しながら、自立して情報交換するためのコミュニケーションが円滑に、多職種と情報交換ができる	① 利用者の状態変化をとらえ、多職種との連携が機能できるよう調整ができる	① 利用者の尊厳を尊重するケアを行うために多職種を尊重しながらチームの目標を共有し、各職種の役割を調整して連携し、課題を解決できる	
② 介護・看護、福祉分野の職種、チーム内の役割について理解ができる	② 部分的な指導を受けながら多職種チームの一員として、日々の情報や異常時の連絡・報告・相談ができる	② ケアカンファレンスに参加し、積極的に入所者・家族の思いや希望等の必要な情報を多職種に伝え共有できる	② 多職種の意見や考え方を尊重することができ、積極的に協力を求め調整できる	② 各職種を尊重しながら問題解決ができる	
③ 多職種チームの一員として、日々の情報や異常時の連絡・報告・相談の必要性を理解できる		③ チームで話し合った内容について実践するために関係者と常に情報交換をしながら進めることができる	③ 定期的なケアカンファレンスだけでなく、必要なタイミングを見極めてケアカンファレンスを開催することができる	③ 多職種、利用者や家族を含めた連携において複雑な調整をすることができる	
指導を受けながら地域内の社会資源を理解できる	部分的な指導を受けながら地域内の社会資源を理解できる	地域内の社会資源を理解できる	地域における社会資源を理解しチーム内の利用者に対して活用できる	地域の社会資源を理解し、活用するための情報共有や関係職種との交流が図れる	
① 指導を受けながら介護保険制度・資源・サービス内容を理解できる	① 部分的な指導を受けながら介護保険制度・資源・サービス内容を理解できる	① 介護保険制度・資源・サービス内容を理解し活用できる	① 介護保険制度・資源・サービス内容を理解し活用できているか確認できる	① 介護保険制度・資源・サービス内容を理解し活用できているか確認できる	
② 指導を受けながら利用者の入退所支援の仕組みについて理解できる	② 部分的な指導を受けながら利用者の入退所支援の仕組みについて理解できる	② 利用者の入退所支援の仕組みについて理解し活用できる	② チーム内の利用者の入退所支援の仕組みについて理解し活用できる	② 部署内の利用者の入退所支援の仕組みについて理解し活用できる	
指導を受けながら利用者や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	利用者や周囲の人々の思いや考え、希望を指導を受けながら意図的に確認することができる	利用者や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる	利用者や周囲の人々の意思決定プロセスに介護職の立場で参加し、適切な介護を実践できる	適切な資源を積極的に活用し、利用者や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる	
① 指導を受けながら利用者や家族、友人、多職種等の思いや考え、希望（在宅復帰等）を知ることができ、意思や選択をケアに活かすことの必要性がわかる	① 部分的な指導を受けながら、利用者や家族等との会話の中でどのような生き方を望んでいるのか、大切にしたい生き方や生活内容、趣味などについて詳しく確認することができる	① 利用者大切に生きてきた生き方や生活の内容、趣味などについて意図的に選択できる場面をつくることことができる	① 意思決定場面における利用者や家族の意思決定に伴うゆらぎに寄り添いながら、意思決定を尊重し支援を実践することができる	① 意思決定が困難な場合において家族（または利用者を取り巻く人々）の意思決定を導くことができる	
② 指導を受けながら、入所者が示した意思や希望、選択した事柄をケアに活かすことの必要性がわかる	② 部分的な指導を受けながら利用者に意思や希望を確認することができ、ケアに活かすことができる	② 利用者に意思や希望を確認することができ、ケアに活かすことができる	② 利用者や家族が示した希望、選択した事柄を多職種に伝え、チーム全体でケアに反映することができる	② 家族（または利用者を取り巻く人々）が入所者の衰弱の進行を受け入れられない場合、現状を受け入れられるよう支援をすることができる	
		③ 意思決定に必要な情報を提供することができる		③ 家族（または利用者を取り巻く人々）の思いを受け止めながら、多職種を巻き込み、個々に合った意思決定支援を行うことができる	
指導を受けながら終末期に関する利用者や周囲の人々の思いを考え、希望を知ることができる	部分的な指導を受けながら終末期に関する利用者や周囲の人々の思いを考え、希望を知ることができる	利用者や周囲の人々の終末期に関する意思決定を知り状況把握ができる	利用者や周囲の人々の終末期に関する意思決定プロセスに介護職の立場で参加し、適切な生活支援を実践できる	利用者や周囲の人々の意思決定に基づいた終末期となっているか評価できる	
① 施設内に「看取り」に関する意思決定を支援する仕組みがあることが分かる	① 利用者のADL、余命、無告知について把握することができる	① 利用者の痛みやその他の不快な身体症状の変化があった場合の対処について、あらかじめ医療機関または医療職と打ち合わせができる	① 人生の最終段階にある利用者の看取りについて家族のゆらぎに寄り添うことができる	① 利用者や家族の希望に添えているかの把握を行い、必要時に指導ができる	
② 利用者の自己決定や家族の希望を最大限尊重する必要性が理解できる	② 指導を受けながら利用者の自己決定や家族の希望を最大限尊重することができる	② 変化があった場合には連絡をすることができる	② 利用者の痛みやその他の不快な身体症状の変化があった場合の対処について連絡方法等の指導ができる	② 施設で看取りをするを選択された後、利用者や家族にとって有意義な時間になるように、可能な支援を、モデルを見せて実践、指導ができる	

介護実践における技術的側面

協働する力

意思決定を支える力

# 介護クリニカルラダーレベル別到達目標一覧 (高齢者介護施設)

	I	II	III	IV	V
介護実践における技術的側面	③ 終末期に医療機関または医療職との連携が必要なことが理解できる	③ 指導を受けながら利用者の痛みやその他の不快な身体症状の変化をとらえ、医療機関または医療職に連絡することができる	③ 施設内での「看取り」を充実したものにできるよう、どのように個々の意思や希望に添えるか、入所者や家族、多職種と検討ができる	③ 終末期ではあっても日常生活援助は、利用者の負担を最小限に行えているか評価し指導できる	③ 介護職と医療職または他職種が上手く連携をとれているか評価し、必要時には指導ができる
	④ 利用者の痛みやその他の不快な身体症状の変化をとらえ、医療機関または医療職に連絡する必要性が理解できる	④ 指導を受けながら利用者の状態の変化を正確に記録し、多職種と共有することができる	④ 利用者の状態の変化を正確に記録し、多職種と共有することができる	④ 人生の最終段階の過ごし方に関する意思決定について、家族がどこでどのように看取るか決める際に、施設においてはどのような看取り方をするのか情報提供することができる	④ 利用者や家族の希望を医療機関や医療職が聞き入れているか確認をし、必要時に仲介することができる
	指導を受けながら身体拘束適正化に向けた対応ができる	部分的な指導を受けながら身体拘束適正化に向けた対応ができる	身体拘束適正化に向けた対応ができる	身体拘束適正化に向けた指導ができ、緊急やむを得ず身体拘束を実施する場合の手続きの指導ができる	身体拘束適正化に向けた対応が適切であるか評価できる
	① 身体拘束適正化指針などの理解ができ、指導を受けながら身体拘束に至る背景や原因について情報を収集・整理し、問題点を明確にすることができる	① 部分的な指導を受けながら身体拘束に至る背景や原因について情報を収集・整理し、問題点を明確にすることができる	① 身体拘束に至る背景や原因について情報を収集・整理し、問題点を明確にでき、身体拘束をなくしていくための対応策について理解し実践できる	① 身体拘束に至る背景や原因、身体拘束をなくしていくための対応策の指導ができる	① 身体拘束をせずに対応をしていく方法についての話し合いが適切にされているか把握し、必要に応じて指導ができる
	② 身体拘束をなくしていくための対応策について理解し、指導を受けながら実践できる	② 部分的な指導を受けながら身体拘束をなくしていくための対応策について理解し実践できる	② 身体拘束をなくしていくための対応策についてチームメンバーと共有し、対応策が継続的に行われるよう働きかけを行うことができる	② ケアカンファレンス等を開催し、身体拘束をなくしていくための対応が継続的に行われるようリーダーシップを図ることができる	② 他職種の意見も聞きながら対策を考えることができる
	③ 緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、委員会や施設全体としての判断が行われるような手続きであることを理解できる	③ 緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、部分的な指導を受けながら委員会や施設全体としての判断が行われるような手続きを図ることができる	③ 緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、その様態および時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由を記録することができる	③ 緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合の手続き、記録方法について指導できる	③ 身体拘束の手続きがルールに従っているか評価ができ、必要に応じて指導できる
	指導を受けながら介護スタッフとしての自覚を持ち、倫理に基づいて責任ある行動がとれる	部分的な指導を受けながら介護スタッフとしての自覚を持ち、倫理に基づいて責任ある行動がとれる	介護スタッフとしての自覚を持ち、倫理に基づいて責任ある行動がとれる	介護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し利用者の人権を擁護することの必要性を指導することができる	介護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重できる介護福祉士を育成することができる
	① 個人情報保護法の指針及び守秘義務を遵守する必要性が理解できる	① 部分的な指導を受けながら個人情報保護法の指針及び守秘義務を遵守することができる	① 個人情報保護法の指針及び守秘義務を遵守することができる	① 個人情報保護法の指針及び守秘義務について指導することができる	① 個人情報保護法の指針及び守秘義務について遵守されているか評価できる
	② 指導を受けながら倫理についての見方・考え方が理解できる	② 倫理についての見方・考え方を理解し、助言や指導を受けながら自身のケアを見直すことができる	② 介護スタッフとして自覚を持ち、倫理に基づいて自立した行動をすることができる	② 介護スタッフとしての自覚を持ち、倫理に基づいた行動の必要性を指導することができる	② 介護倫理に基づいた対応が周知徹底されているか評価できる
	③ 指導を受けながらAMGおよび施設内接遇の規定について理解できる	③ AMGおよび施設内接遇の規定について理解でき、指導を受けながら実践できる	③ 介護スタッフとしての基本的な接遇を身につけた態度と行動がとれる	③ 介護スタッフとしての接遇の重要性を理解し、スタッフの模範になることができる	③ 部署全体が介護スタッフとしての接遇ができているか評価できる
目標管理	AMG理念、施設理念、介護看護部目標、部署目標を知り指導を受けながら個人目標を立案できる	AMG理念、施設理念、介護看護部目標、部署目標を理解した上で個人目標を立案し目標達成に向けた行動ができる	AMG理念、施設理念、介護看護部目標、部署目標を理解した上で個人目標を立案し目標達成に向けた行動ができ評価、修正ができる	AMG理念、施設理念、介護看護部目標、部署目標を理解した上で部署目標達成に向け、自己の役割をふまえた目標の立案と行動と評価、修正ができる	AMG理念、施設理念、介護看護部目標を理解した上で、部署目標の立案に参画できる また、部署目標達成のために教育的役割をはたせる
	① AMGの理念と施設理念、介護看護部の方針、自部署の目標を知ることができる	① 部分的な指導を受けながらAMGの理念と施設理念、介護看護部の方針、自部署の目標が理解できる	① AMGの理念と施設理念、介護看護部の方針、自部署の目標が理解できる	① AMGの理念と施設理念、介護看護部の方針、自部署の目標を参画的な視点を持って理解できる	① AMGの理念と施設理念、介護看護部の方針に沿った自部署の課題を明確にできる
	② 自分のレベルに合った目標と具体的実施計画を指導を受けながら立案することができる	② 部分的な指導を受けながら自己の到達可能な個人目標の立案ができ、具体的実施計画を立てることができる	② チームの一員として部署目標を達成する為の個人目標を立案し、具体的実施計画を立てることができる	② 部署のチームリーダーとしての自己の役割が理解できる	② 自部署の課題の中から優先的、重点的に取り組むべき事を明確にし、部署目標の立案に参画できる
	③ 指導を受けながら具体的実施計画に沿った行動がとれているか、自己評価できる	③ 部分的な指導を受けながら具体的実施計画に沿った行動がとれているか、自己評価できる	③ 自ら定期的に計画・行動の評価・修正ができる	③ 部署のチームリーダーとして目標達成に向けて積極的な行動ができスタッフの手本となる事ができる	③ 立てた目標を部署のスタッフに浸透させ個人目標の立案ができるよう支援することができる
	④ 指導を受けながら定期的に計画の修正と提出ができる	④ 部分的な指導を受けながら定期的に計画・行動の評価・修正ができる	④ 部署における自分の役割を理解し、協力しながら行動することができる	④ 部署目標を共有し達成するための行動をスタッフに促すことができる	④ スタッフが個人目標を達成することができるようにそれぞれの成長段階に応じて教育的な役割を果たすことができる
組織役割遂行	指導を受けながら物品の管理方法が理解できる	部分的な指導を受けながら物品の管理ができる	率先して物品の管理ができる	物品の管理方法について指導できる	物品が適切に管理されているか監査できる
	① 指導を受けながら介護に関する物品の保管場所が分かり、規定にそって適切に物品を取り扱うことができる	① 部分的な指導を受けながら介護に関する物品の保管場所が分かり、規定にそって適切に物品を取り扱うことができる	① 部署内の物品を適宜点検し故障や異常がある場合は、すぐに責任者へ報告し修正依頼ができる	① 適切に物品を取り扱う事ができるよう部署スタッフへ指導ができる	① 部署の管理物品を全体的に確認し、適切な取り扱いができていないか把握することができる
	② 指導を受けながら5S活動を理解できる	② 物品供給システムが理解できる	② 5S活動を日常的に実践することができる	② 故障や異常の報告を受けた場合、手順に従い担当部門に修理依頼ができる	② 部署の備品が適切に修理、メンテナンスできているか把握し安全に提供されていることを確認することができる
	③ 指導を受けながら5S活動を意識した行動ができる	③ 部分的な指導を受けながら5S活動を意識した行動ができる	③ 使用頻度と部署全体の在庫がわかり、適量の請求ができる	③ 自ら日常的に5S活動を実践するとともに、スタッフに指導ができる	③ 5S活動が部署全体で実践されているか確認し指導できる
	④ 指導を受けながら使用後のあと片付けと補充ができる	④ 部分的な指導を受けながら使用後のあと片付けと補充ができる	④ 常にコスト意識を持ち、無駄を省く工夫ができる	④ 使用有効期限の理解と適時の棚卸を行い、在庫を意識できる	④ コスト意識を持ち、経済性の視点で評価し、改善に向けて取り組むことができる
災害・防災管理	組織の一員として自施設で実施されている災害・防災管理について理解できる	組織の一員として、自施設で実施されている災害・防災管理について自主的に取り組むことができる	組織の一員として、自施設で実施されている災害・防災管理について率先して取り組むことができる	組織の一員として、自施設で実施されている災害・防災管理についてスタッフに指導できる	組織の一員として、自施設で実施されている災害・防災管理が適切に行われているか評価できる
	① 自部署の災害対策が理解できる	① 自部署の災害対策を理解し自主的に行動できる	① 自部署の災害対策を理解し率先して行動できる	① 自部署の災害対策について指導できる	① 自部署の災害対策について評価・修正できる
	② 発災時の初期対応が理解できる	② 発災時の初期対応ができる	② 発災時の初期対応が率先して行動できる	② 発災時の初期対応について指導できる	② 発災時の初期対応について周知できているか評価できる
	③ 施設内・部署の防災訓練に参加している	③ 施設内・部署の防災訓練に自主的に参加できる	③ 施設内・部署の防災訓練に率先して参加できる	③ 自部署の防災訓練の企画・運営に参画できる	③ 自部署の防災訓練について評価できる

# 介護クリニカルラダーレベル別到達目標一覧 (高齢者介護施設)

		I	II	III	IV	V
組織 役割 遂行	メン タル ヘル ス	指導を受けながら健康管理の必要性を理解して行動できる	健康管理の必要性を理解して行動できる	自己管理能力を身につけ、自立して責任ある行動がとれる	自己管理能力について指導できる	自己管理能力を客観的に評価できる
		① 特別な理由を除き、流行性ウイルス性疾患、インフルエンザなどのワクチン接種の必要性を理解できる	① 健康を害した際に助言を受け対処行動がとれる	① 自主的に定期的な健康診断の受診ができる	① 定期的な健康診断の受診を指導できる	① 健康を害したスタッフへの適切な支援ができる
		② 健康を害した際に状況を報告でき、助言を受け対処することができる	② 介護場面で感情のコントロールができていくか気づくことができる	② 健康を害した際、速やかに対処行動がとれる	② 健康を害したスタッフへの対応が指導できる	② 相手から受ける刺激に本題を見失わず、感情をコントロールできるとともに感情的なスタッフへ適切な対応を図ることができる
		③ 指導を受けながら介護場面で感情のコントロールの必要性を理解することができる	③ 年1回ストレスチェックを受け、自分の心の変化に気づくことができる	③ どのような場面においても、介護者として感情をコントロールすることができる	③ 相手から受ける刺激に本題を見失わず、感情をコントロールし、冷静な対応ができる	③ 年1回はストレスチェックを受け、自分のストレス状態を確かめ、心の不調を未然にふせぐことができるとともに、スタッフのサインに早めに気づき、上司に相談することができる
		④ 指導を受けながら、ストレスチェック制度を理解し、年1回ストレスチェックを受けることができる		④ 年1回はストレスチェックを受け、自分のストレス状態を確かめ、心の不調を未然にふせぐことができる	④ 年1回はストレスチェックを受け、自分のストレス状態を確かめ、心の不調を未然にふせぐことができるとともに、ストレスチェックの必要性を指導することができる	
継続 教育 ・ 研究	継続 教育 ・ 研究	指導を受けながら、専門職として継続教育の必要性を理解できる	専門職として継続教育の必要性が理解できる	専門職として継続教育に取り組むことができる	専門職として後輩育成に取り組みながら自己のキャリア開発に努めることができる	専門職として後輩育成に取り組みながら介護の質を評価できる
		① クリニカルラダーシステムについて理解できる	① クリニカルラダーシステムについて理解でき研鑽できる	① 専門職として自己研鑽の必要性を理解し、クリニカルラダーについて自主的に取り組むことができる	① 自身の目指す領域・分野を模索するための学習の場に参加することができる	① 自身の目指す領域・分野を模索するための学習の場に参加することができ、その結果を反映し質の高い介護実践が行われているかを評価することができる
		② 施設内外研修や講習会に参加し、報告することができる	② 施設内外研修や講習会に積極的に参加し、報告することができる	② その結果を介護実践の場に反映することができる	② 部署の教育プログラムの企画・運営に携わることができる	② 部署の教育プログラムが円滑に進んでいるか評価できる
		③ 日々の介護実践の中で、指導を受けながら自己の課題を発見することができる	③ 助言を受けながら、研修会等の学びを日々の業務に取り入れることができる	③ 学生や新人を温かく迎え入れる態度で対応できる	③ 新人介護職員研修の教育体制を理解し、実施指導者としての役割を果たすことができる	③ 指導的立場としての役割を担うことができる
		④ 日々の介護実践の中で自己の課題を発見し、指導を受けながら課題を達成できるよう学習することができる	④ 日々の介護実践の中で、自己の課題を発見し、課題を達成することができるよう主体的に取り組むことができる	④ 日々の介護実践の中で、自己の課題を発見し、課題を達成することができる		
介護 研究	介護 研究	指導を受けながら介護研究の意義や目的が理解できる	介護研究の意義や目的が理解できる	介護研究にチームの一員として参画することができる	介護研究を研究的視点を持ち支援できる	介護研究の指導的な役割を果たすことができる
		① 施設内・外介護研究発表会に参加できる	① 日常のケアにおいて、疑問や問題意識を持つことができる	① 介護研究のプロセスを理解することができる	① 介護研究メンバー共に、中心的な役割を持ちながら参画できる	① 研究に必要な基礎知識を自らが理解し、指導者としての役割を果たすことができる
		② 指導を受けながら、介護研究メンバーの研究協力ができる	② 施設内・外介護研究発表会に参加し、研修の目的や必要性を理解することができる	② 介護研究の基礎知識を身につけることができる	② 介護研究から得られた成果や知見を、実践の場に活かすことができる	② 研究課題を持っているスタッフの研究相談ができる
			③ 介護研究メンバーの研究協力ができる	③ 介護研究メンバーとして参画できる		③ 必要に応じて文献活用についてスタッフに指導できる
					④ 学会等で得られた研究結果を現場に応用できる	

# 介護マネジメントラダーレベル別到達目標一覧

能力	定義
組織管理能力	組織の方針を実現するために資源を活用し、介護組織をつくる力
質管理能力	利用者の生命と生活、尊厳を尊重し、介護の質を組織として保証する力
人材育成能力	将来を見据えて介護人材を組織的に育成、支援する力
危機管理能力	予測されるリスクを回避し、安全を確保するとともに、危機的状況に陥った際に影響を最小限に抑える力
政策立案能力	介護の質向上のために制度・政策を活用及び立案する力
創造する能力	幅広い視野から組織の方向性を見出し、これまでにない新たなものを創り出そうとする挑戦する力

	I	II	III
到達目標	<b>管理者とともに自部署の介護管理を実践できる</b>	<b>自部署の介護管理を実践できる</b>	<b>介護部門の介護管理を実践できる</b>
組織管理能力	施設理念と方針に基づいた介護看護部目標をスタッフに伝えることができる	自部署の方針の策定に参画し、自部署全体に浸透させることができる	介護看護部の方針を理解したうえで介護部門全体に浸透させることができる
	① 施設理念と基本方針、介護看護部目標を理解しスタッフに提示、説明できる	① 施設理念と基本方針、介護看護部目標を理解しスタッフに周知、徹底ができる	① 介護部門の組織分析と、部門目標の立案に参画でき、スタッフや関連部門に周知ができる
	② 職場内会議や委員会等において自分の考えや意見を述べるができる	② 会議や委員会に参加し役割に応じた発言をするとともに内容をスタッフに周知、徹底ができる	② 全部署の課題を把握し、各部署の目標が部門目標と整合しているか評価・指導ができる
		③ 自部署の目標達成度の評価をスタッフに説明できる	③ 全部署の課題を把握し、各部署目標立案に向けた評価・指導ができる
	自部署の人的資源、物的資源、経営資源、情報資源を把握できる	経営的な視点をもって自部署の人的資源、物的資源、経営資源、情報資源を把握することができる	経営の視点をもって人的資源、物的資源、経営資源、情報資源を評価し、整備することができる
	① 管理者とともに自部署の課題を明確にし、課題をふまえた年度目標立案ができる	① 自部署の分析を行い介護部門の課題を踏まえた自部署目標の立案ができる	① 介護部門の年度目標及び進捗状況(達成度)を把握し、目標達成に向けた管理ができる
	② 自部署の年度目標をもとに定期的に管理者の支援を受けながら進捗状況の確認ができる	② 自部署の年度目標及び進捗状況(達成度)を把握し、目標を達成できる	② 介護部門年度目標の評価を行い、新たな課題把握や次年度目標につなげることができる
			③ 収支予測やスタッフ過不足状況を踏まえ、募集、採用、異動等の計画作りや提案ができる
			④ 介護部門の長として介護看護部長とともに予算計画の立案と要請ができる
	個々のスタッフの立場や意見を理解することができる	個々のスタッフの立場や意見を理解し、反応を予測しながら調整・交渉することができる	必要な根拠を客観的に示しながら他部門と調整・交渉することができる
	① スタッフからの情報提供、報告、連絡、相談を受け上司に報告することができる	① 上司、部下、同僚等の情報提供、意見、報告等を管理的視点にたって解釈し活かすことができる	① 所属長からの情報提供・報告・連絡・相談を受け、必要に応じて介護看護部長に報告することができる
	② スタッフの気持ちを思いやれる感性と謙虚に対応する柔軟性と誠実性があり、信頼関係を構築できる	② 上司、部下、同僚等に対して、タイミングよく情報提供、報告、連絡、相談ができ、必要に応じて説得ができる	② 介護部門で発生している問題に対して、会議や委員会活動を通じて他部門と調整しながら解決ができる
	③ 部署目標や業務改善に関して実践し、結果を報告できる	③ 個々のスタッフの成熟度(自立性・意思決定能力・専門性・責任感等)に応じた支援方法をとることができる	③ 所属長の成熟度(自立性・意思決定能力・専門性・責任感など)に応じて、支援をすることができる
		④ 自部署内の業務改善に関して実践し、結果を検証できる	
	自施設が地域の介護資源のひとつであることを理解し、地域の特性や地域内での自施設の役割を理解することができる	地域における連携方法を理解し、施設外との関係者と連携することができる	自施設内及び地域におけるネットワークを意図的かつ計画的に構築することができる
	① 地域の特性を理解し、地域社会の中での自施設の役割を理解することができる	① 地域の特性や活動を知り、スタッフが地域活動等に参加できるよう調整することができる	① 地域と必要に応じた連携・連絡を取り良好な関係を構築することで施設や地域に貢献することができる
	② 自施設と地域の連携方法や参加方法を理解することができる	② 自部署の特性に応じて、外部の関係者と情報交換できる	② 地域の特性や外部資源について分析を行い、施設内のスタッフに説明をすることができる
			③ 施設内の機能を外部へ発信することができ、地域連携に向けた提案をすることができる
	自部署の作業環境において業務上の危険因子を把握し、指導を受けながら予防と対策を提案することができる	自部署における業務上の危険因子への予防と対策を行い、スタッフが自分自身の健康を大切にするための働きかけができる	介護部門における業務上の危険因子への予防と対策を行い、スタッフが健康で安全に働けるよう環境を整備することができる
	① 労働基準法、就業規則に基づいた自部署スタッフの勤怠管理が支援を受けて実践できる	① 労働基準法、就業規則に基づいた部署スタッフの労務管理ができる	① 労働基準法、就業規則に基づき勤怠管理ができていないか監査できる
② 業務量及び勤務者の人数を把握し、現状や対策を管理者に相談することができる	② 業務量及び勤務者の人数を把握し、対策を立案できる	② 介護部門全体の人員の過不足状況を踏まえた人員の配置を調整できる	
③ 自部署内の超過勤務状況の把握と問題点の把握を行い、改善に向けた提案ができる	③ 自部署内の超過勤務状況の把握と問題点の把握を行い、改善に向けた対策が立案できる	③ 業務量および勤務者人数や能力を考慮した勤務表が作成されているか監査できる	
④ 自部署スタッフの心身の健康状態を把握できる	④ 自部署スタッフの有給休暇を計画的かつ適切に取得できるよう勤務調整ができる	④ 介護部門の超過勤務状況の把握と問題点を確認し、適正化を図ることができる	
	⑤ 自部署内の精神衛生に対する兆候に早期に気づき対応できる	⑤ 介護部門スタッフの有給休暇を計画的かつ適切に取得できるよう勤務調整や体制整備ができる	
	⑥ 健康診断受診および予防接種の指導をすることができる	⑥ 介護部門スタッフ及び所属長の心身の健康状態を把握できる	
		⑦ 病休者の即時対応と効果的な休暇の取得、スムーズな職場復帰の対応を相談できる	
自部署のスタッフとともに倫理的問題を考えることができる	スタッフが自部署の倫理的問題を日常的に議論できるような組織文化をつくることができる	スタッフが介護部門の倫理的問題を日常的に議論できるような組織文化をつくることができる	
① 自部署内の介護提供が介護倫理と尊厳に基づいて提供されているか把握ができる	① 部署内の介護提供が介護倫理と尊厳に基づいて提供されているか評価ができる	① 介護部門の介護提供が倫理と尊厳に基づいて提供されているか監査できる	
② 倫理や尊厳に対する課題発生時には管理者の指導を受けながら対応できる	② 倫理や尊厳に対する課題発生時には適切な対応ができる	② 課題発生時には適切な対応策を図り、周知・徹底させることができる	
		③ 介護実践時や介護研究時は倫理的側面への考慮ができていないか監査できる	

※管理者とは介護マネジメントラダーⅡ・Ⅲ及び介護看護部長を指す。

# 介護マネジメントラダーレベル別到達目標一覧

	I	II	III
質管理 能力	自部署の介護実践の改善に必要なデータを集めることができる	介護に関するデータの中から自部署の介護実践の改善に必要なデータを選別し、活用することができる	介護部門の介護実践についてのデータを活用して可視化し、評価・改善することができる
	① 管理者の支援を受けながら自部署内の経営管理指標の把握ができる	① 自部署内の経営管理指標の分析ができ、対策の立案ができる	① 介護部門の経営管理指標の分析ができ、対策案の立案と実践ができる
	② 経営管理指標の課題を確認し、管理者とともに対策の実践ができる	② 自部署内の加算算定状況の把握を行い、加算要件を遵守する体制を構築できる	② 介護部門の加算算定状況の把握を行い、加算要件を遵守する体制を整備できる
	③ 自部署内の加算算定状況の把握を行い、加算要件を遵守する指導ができる	③ 介護サービスの質向上のため、自部署内における評価指標を活用することができる	③ 介護サービス質向上のため部門内における評価指標を開発することができる
	④ 介護サービスの質向上のため部署内における評価指標の理解と収集ができる	④ 介護実践の改善に向け、自部署で必要な会議等の開催ができる	④ 介護サービス質向上のため評価指標が適切であるか評価・修正ができる
		⑤ 介護実践の改善に向けた会議や委員会にスタッフが参加できるよう指導ができる	
	自部署の介護実践の改善に向けてスタッフを主導することができる	自部署の介護実践の改善に向けてスタッフを主導することができる	介護部門の手順・基準などを整備し、標準化・効率化を促進することができる
	① 自部署の介護過程の展開についての評価や課題を提案することができる	① 自部署内の介護過程の展開についての評価・指導・監査ができる	① 介護部門内で発生する困難な事態についての処理を適切に行い、問題解決ができる
	② 自部署内の認知症利用者ケアについての評価や課題を提案することができる	② 自部署内の認知症利用者ケアについての評価・指導・監査ができる	② 介護部門の介護業務基準を定期的に見直すことができる
	③ 自部署内の利用者への自立支援が適切に実践できているかの評価や課題の提案ができる	③ 自部署内の利用者への自立支援が適切に実践できているかの評価・指導・監査ができる	③ 介護部門の記録や書類を監査することができる
			④ 安全で快適な療養環境の整備や改善ができる
	自部署の手順・基準などの見直しを提案することができる	自部署の手順・基準などの見直しをすることができる	介護部門のケアの質保証のため施設内外を含めた人的資源を有効に活用することができる
	① 自部署スタッフが介護業務基準に則った実践ができているか確認できる	① 介護業務基準に則った実践ができているか評価ができる	① AMGで開催される各種会議や交流会において情報交換を行うとともに新規取り組みについて積極的に参画できる
	② 自部署における介護業務量の把握を行うことができ指導を受けながら改善ができる	② 介護記録や書類を記録基準に沿った内容となっているか評価ができる	② 必要に応じて外部関係者（行政・地域・ボランティア・医療機関・養成校等）と連携を取りながら自施設の課題解決ができる
	③ 介護部門の介護記録や書類についての監査基準・記載基準の理解ができ、課題を提案することができる	③ 自部署における介護業務量を評価し、業務改善ができる	
④ 安全で快適な療養環境の整備や改善を提案することができる	④ 全で快適な療養環境の整備や改善を実践することができる		
⑤ 自部署の物品が適切に使用されているか把握ができ、課題を提案することができる	⑤ 自部署の物品在庫管理ができるよう指導ができる		
	自部署の個々のスタッフの介護実践能力を考慮した勤務体制をとることができる	介護部門の個々のスタッフの介護実践能力を考慮した勤務体制をとり介護の質を保証することができる	
	① 業務量及び勤務人数、個々の能力を考慮した月間勤務表を作成することができる	① 個々のスタッフの成熟度（自立性・意思決定能力・専門性・責任感等）を熟知し、適切勤務配置の調整ができる	
	② 個人のスタッフの能力を考慮した週間予定表作成の指導ができる	② 勤務表作成基準の定期的な見直しや、個々の能力を考慮した月間勤務表を作成するための指導ができる	
		③ 個々のスタッフの介護実践能力向上のため、スタッフ異動の計画を作成し提案することができる	
人材育 成能力	自部署のスタッフを育成する体制を理解することができる	自部署のスタッフを育成する体制を整備することができる	個々のスタッフのキャリア志向を把握し、計画的な指導・助言によりキャリア発達を支援することができる
	① 介護クリニカルラダーの必要性や運用基準を理解し、自部署スタッフへ説明ができる	① 介護クリニカルラダーの必要性や運用基準を周知し、参加できるよう調整ができる	① 介護キャリアラダーの運用基準に基づき、適切に運用できているか評価ができる
	② 施設内の教育体制や委員会組織の理解ができ、自部署スタッフへ説明ができる	② 施設内の教育体制や委員会組織を周知し、自部署スタッフが積極的に参加できるよう調整できる	② 介護マネジメントラダーの評価者として、主任や係長の指導や助言ができる
	③ 新人教育の重要性が理解でき、管理者とともに新人教育の自部署内体制を整備することができる	③ 新人教育の自部署内体制の評価を行い、課題に応じた整備を推進することができる	③ 介護スタッフ教育に対する長期的動向を洞察し、介護部門における教育・研修体系を確立できる
	④ 自部署内で必要な人材育成のための教育計画を管理者に提案することができる	④ 自部署内で必要な人材育成のための教育計画を整備、実践することができる	④ 介護スタッフのキャリア活発の展望を持ち、院内外への研修体制整備を行う
	⑤ 自部署スタッフが施設内外の研修に参加できるよう調整し、支援することができる	⑤ 自部署スタッフが施設内外の研修に参加できるよう勤務調整をすることができる	⑤ 教育責任者とともに介護部門の人材育成の方法について検討することができる
	⑥ 自部署スタッフの介護研究への動機付けと取り組みについての支援や実践ができる	⑥ 自部署スタッフの介護研究への動機付けと取り組みについての指導ができる	
	スタッフの介護実践能力を把握し、個々の目標達成にあわせた支援・動機付けをすることができる	個々のスタッフの能力や可能性を見出し、機会や権限を与え、成長を支援することができる	介護管理者に対して、管理者としての成長を支援することができる
	① 管理者とともに介護クリニカルラダーを通じて、スタッフが自己の課題を明確にできるよう支援ができる	① 介護クリニカルラダーを通じて、自部署のスタッフが自己の課題を明確にできるよう支援ができる	① 所属長の育成を適切にサポートしながら成長を支援することができる
	② 管理者とともに明らかになった課題から、スタッフが自己目標を立てることができるよう支援ができる	② 明らかになった課題から、スタッフが自己目標を立てることができるよう支援ができる	② 自部署目標や個人目標を達成するための定期的な面接を行い、スタッフのモチベーションを高める関わりができる
	③ 管理者とともに自部署スタッフの個人目標を達成するための面接及び進捗・達成状況を評価できる	③ 自部署スタッフの個人目標を達成するための面接及び進捗・達成状況を評価できる	③ 所属長の能力を最大限に引き出し、介護部門としての成果につなげることができる
	④ 管理者とともにキャリアラダーレベルの評価基準に基づいた適正な評価ができる	④ キャリアラダーレベルの評価基準に基づいた適正な評価ができる	④ 先駆的な介護研究の推進、支援を行い、スタッフへの動機付けと取り組みについての評価ができる
	外部からの実習・研修の受け入れに際し、学習環境などを管理者とともに調整することができる	外部からの実習・研修の受け入れに際し、自部署での指導体制を構築することができる	外部からの実習・研修の受け入れに際し、教員などと課題や方針を共有し、介護部門における指導体制を構築することができる
	① 介護実習の受け入れをするため指導者の支援をし、環境整備ができる	① 実習指導者の勤務調整を図ることができる	① 介護実習受け入れのための人材育成、組織整備を行うことができる
	② 介護実習が適切に実施されているかの評価を行い、指導者への支援ができる	② 指導者間で、情報共有を図る場を設定することができる	② 適切な介護実習を実施するための施設環境整備や教員との調整ができる
		③ 実習指導者会議などに参加し、会議で得た情報をもとに学習環境を整えることができる	

※管理者とは介護マネジメントラダーⅡ・Ⅲ及び介護看護部長を指す。

# 介護マネジメントラダーレベル別到達目標一覧

	I	II	III
危機管理能力	未然防止や再発防止の視点をもって、業務プロセスを見直し、自部署内の改善を徹底することができる	自部署に関連する事故や問題のリスクを分析し、予防策を講じることができる	介護部門における安全文化の醸成をはかることができる
	① 自部署におけるインシデント・アクシデント件数や内容を理解することができる	① 自部署におけるインシデント・アクシデント件数や内容に基づいた業務改善ができる	① 施設の安全管理体制に基づき、利用者やスタッフの安全が確保できるよう組織化ができる
	② 自部署内で発生したインシデント・アクシデントの分析をし、支援を受けながら対策を立てることができる	② 自部署内で発生したインシデント・アクシデントの分析をし対策を立てることができる	② 安全管理体制が周知、徹底されているか監査し、新たな課題を抽出することができる
	③ 施設内感染対策マニュアルを自部署スタッフに周知させることができる		③ 安全管理体制の課題に対する解決策を提案でき、周知、徹底ができる
	④ 個人情報や情報管理に関するマニュアルを自部署スタッフに周知させることができる		④ インシデント・アクシデントの分析、対策立案のための指導ができる
		自部署における安全文化の醸成をはかることができる	自施設における危機管理のための体制整備に参画することができる
		① 施設内感染対策マニュアルを自部署スタッフに周知させ、遵守できるよう指導ができる	① 施設内感染対策マニュアルを自部署スタッフに周知させ、遵守できるよう指導ができ、実践状況を監査できる
		② 個人情報や情報管理に関するマニュアルを自部署スタッフに周知させ遵守できるよう指導ができる	② 個人情報や情報管理に関するマニュアルを自部署スタッフに周知させ遵守できるよう指導ができ、実践状況を監査できる
	事故や問題が発生した際、支援を受けながら経過に即した対応ができる	事故や問題が発生した際、経過に即した対応策を考え、スタッフが施設内の対応策に則り行動するよう指揮することができる	事故や問題が発生した際、介護部門の対応策を判断しマネジメントすることができる
	① 事故や問題発生時には初期対応を行いながら必要な情報の報告ができる	① 事故や問題発生時には初期対応の指示を出し、適切な対応を取るよう指導ができる	① 安全管理上の重大なケースについて適切に対応ができる
	② 介護事故発生時、安全対策マニュアルに沿った適切な対応の指導ができる	② 安全管理上の重大なケースについて適切な対応ができる	② 介護部門内で発生した事柄について報告体制を整えることができる
	③ 苦情やクレーム発生時には、マニュアルに従いながら初期対応を行い、必要に応じて管理者に報告ができる	③ 安全管理体制が徹底されているか監査し、新たな課題を抽出することができる	③ 介護事故発生時や問題発生時、適切な対応ができるとともに、スタッフの精神的支援ができる
	④ 安全管理体制の課題に対する解決策を提案できる		
災害時に行動できるように、自部署の利用者とスタッフの安全を確保するための対応策を立案し、災害発生に備えることができる	災害時に行動できるように、自部署の利用者とスタッフの安全を確保するための対応策とスタッフへの教育を行い災害発生に備えることができる	災害時に行動できるように、災害発生時に限られた資源で業務を遂行できるよう介護部門の対応策を立案し、災害発生に備えることができる	
① 防災(防犯・災害)に対するマニュアルを理解しスタッフに周知できる	① 自部署の防災(防犯・災害)に対するマニュアルを定期的に見直し、対策についてスタッフに周知・徹底ができる	① 災害対策委員会などと災害や防犯対策マニュアルを定期的に見直し、利用者やスタッフの安全のため組織化できる	
② 災害発生時に管理者とともに自部署の利用者とスタッフの安全を確保できる対応策を立案できる	② 災害発生時に自部署の利用者とスタッフの安全を確保できる対応策の立案と教育ができる	② 災害発生時に利用者やスタッフの安全を確保できる対応策の立案ができる	
政策立案能力	既存の介護制度・政策に関する動向を情報収集することができる	自部署の介護の質向上に既存の制度・政策を活用することができる	介護部門の介護の質向上に既存の制度・政策を活用することができる
	① 介護保険制度の定める基本理念や方針を理解することができる	① 介護保険制度の定める基本理念や方針を理解し、自部署の運営に活用できる	① 介護保険制度の定める基本理念や方針を理解し、介護部門の運営に活用できる
	② 介護保険制度に基づき、自部署の運営が適切に実施されているか確認ができる	② 介護報酬改定に関する情報を収集している	② 介護保険制度の定める理念を理解し、各スタッフへ指導ができる
		③ 介護報酬に基づき、基準を遵守しているか監査ができる	③ 政策の方向性を吟味し、介護部門及び関係部門と調整・連携することができる
		既存の介護制度・政策について課題意識を持つことができる	介護の動向を踏まえ、予測性と先見性をもって必要な情報収集ができ、管理に活かすことができる
		① 厚生労働省、介護福祉士会などの動向の情報収集をしている	① 介護保険法改正や地域ニーズの変化等の情報収集を積極的にを行い、施設運営に活用できるよう提案ができる
		② 介護保険制度に基づき自部署の運営が適切に実施されているか評価ができる	② 政策誘導等の方向性を踏まえ、戦略的に選択、評価、実現に向けた提案ができる
	③ 地域の特性や外部資源を部門スタッフに説明することができ、施設外部へ発信することができる	③ 職能団体や行政機関などと協働し、施設として参画することができる	
創造する能力	慣習にとらわれず、新たな介護サービスの提供方式・方法を考えることができる	慣習にとらわれず、新たな介護サービスの提供方式・方法を提案し、実践することができる	新たな介護サービスの提供方式・方法を創造し、スタッフとともに実現に向けたマネジメントをすることができる
	① 自部署内の利用者ニーズに合った、利用者中心の介護提供体制となっているか考えることができる	① 自部署内の利用者ニーズに合った、利用者中心の介護提供体制を明確にし、必要な介護提供体制を実践するための調整ができる	① 社会情勢・経営状況を踏まえ利用者のニーズに合った利用者中心の介護提供体制を整備することができる
	② 変動する組織の内部・外部環境を考えると変革の必要性について理解ができる	② 変動する組織の内部・外部環境の中で、支援を受けながら変革目標を立案し、変革のための実践ができる	② 変動する組織の内部・外部環境の中で、変革目標を立案し、変革のための実践ができる
		③ 自部署内における変革の必要性と課題をスタッフと共有し、支援を受けながら変革を推進できる職場風土をつくることことができる	③ 変革の必要性と課題をスタッフと共有し、変革を推進できる職場風土をつくることことができる
		介護の動向や地域の状況などに関する情報を活用し、支援を受けながら自部署及び介護ニーズの変化を予測して対応することができる	地域に共通の保険医療福祉サービスの課題を想定し、課題解決に向け調整することができる
		① 支援を受けながら地域ニーズや利用者ニーズを把握し課題を明確にする	① 介護部門のリーダーとしてたえず地域ニーズや利用者ニーズを把握し課題を明確にする。
	② 明確にしたニーズに対して管理者とともに自部署の対策を立案し調整することができる	② 明確にした課題を解決するために対策を立案し調整することができる	

※管理者とは介護マネジメントラダーⅡ・Ⅲ及び介護看護部長を指す。